

平成 29 年 6 月 27 日

報道機関 各位

東北大学サイバーサイエンスセンター

City Wi-Fi Roaming 大学としては世界初参加
- 世界中でつながる次世代ホットスポット (NGH) と eduroam の連携を推進 -

【発表のポイント】

- 次世代ホットスポット(NGH)^{注1}の実証実験システムを開発し、「City Wi-Fi Roaming トライアル^{注2}」を通じて世界の NGH 基盤に接続しました。これにより公衆無線 LAN の安全性向上(セキュア化)や利便性向上、スマートシティの基盤構築などに貢献します。
- 携帯電話やプロバイダなどのアカウントを利用することで、訪問先ごとの手続きなしに、世界のフリーWi-Fiを安全かつ自動接続で使える仕組みを提供します。
- 大学等で広く利用される学術系無線 LAN ローミング基盤 eduroam(エデュローム)^{注3}のアカウントで、公衆無線 LAN を安全に利用できるようになり、ICTを活用した教育・研究環境の拡充に貢献します。

【概要】

東北大学サイバーサイエンスセンターの後藤英昭准教授らの研究グループは、同教員が開設し幹事を務めている「セキュア公衆無線 LAN ローミング研究会 (<http://nghsig.jp/>)」とともに、Wireless Broadband Alliance (WBA)による「City Wi-Fi Roaming トライアル」に参加しました。このトライアルにおいて、世界の通信事業者との共同作業により、次世代ホットスポット(NGH)の導入・普及を促進するための課題整理、技術開発、実証実験等に取り組みます。期間中に国内数か所に設置する NGH 対応基地局でサービス提供するほか、大学等キャンパス無線 LAN との連携を通じて、ICTを活用した教育・研究環境の拡充を目指します。

【詳細な説明】

後藤英昭准教授らの研究グループおよび「セキュア公衆無線 LAN ローミング研究会」では、これまで、次世代ホットスポット(NGH)関連システムの研究開発や啓発活動のために、NGH テストベッド(実験システム)の開発および運用方法の検討などを進めてきました。今回、このテストベッドが国際的な NGH ハブに接続され、「City Wi-Fi Roaming トライアル」における無線 LAN 相互利用が実現しました。大学として、本トライアルへの参加は、世界初の事例となります。世界の通信事業者との共同作業により、次世代ホットスポット(NGH)の導入・普及を促進するための課題整理、技術開発、実証実験等に取り組むことで、国内外における公衆無線 LAN の安全性向上(セキュア化)や利便性向上、スマートシティの基盤構築などに貢献します。

トライアル参加のもう一つの目的に、学術系無線 LAN ローミング基盤 eduroam(エデュローム)と公衆無線 LAN を連携させる技術・仕様の開発があります。eduroam は、大学や研究機関の間でキャンパス無線 LAN の相互利用を実現し、ネットワーク時代の教育・研究を支えるインフラとして重要性が評価されています。キャンパスを超える、市街地における eduroam 利用のニーズが国内外で大きいものの、従来、その実現はごく一部の都市に限られていました。今回のトライアル参加は、世界の eduroam 関係者の中で初のものであり、世界のフリーWi-Fiとの連携を通じて、実用化についての知見を蓄積し、世界の教育・研究基盤の発展・拡充を目指すものです。

【用語説明および参考 URL】

注1 次世代ホットスポット (NGH, Next-Generation Hotspot):

Wireless Broadband Alliance (WBA)が提唱する、公衆無線 LAN を快適・安全に利用できるようにするための技術や運用ルールなどを取りまとめた仕様。現在は事業者ごとに異なるアカウント(利用者 ID)が必要だったり、盗聴や偽基地局による犯罪に対して無防備だったりする公衆無線 LAN(フリーWi-Fi を含む)を置き換え、携帯電話並みの使い勝手を実現するもので、ICT 技術を活用する新しい都市「スマートシティ」を支える基盤の一つとしても期待されている。

注2 City Wi-Fi Roaming トライアル:

WBA が主催し、世界各地の都市で提供される公衆無線 LAN を NGH 基盤で結ぶことにより、ひとつのアカウントで相互利用(ローミング利用)できる環境を構築しようとする、世界規模のトライアル。2016 年にニューヨーク、サンフランシスコ、サンノゼ、シンガポールを結ぶ第 1 回が開催された。第 2 回目となる 2017 年は、6 月 20 日の World Wi-Fi Day を起点とする 8 月末までの期間、20 程度の都市を結んで開催される。

City Wi-Fi Roaming: <http://worldwifiday.com/city-wi-fi-roaming/>

注 3 eduroam (エデュローム):

欧州で 2003 年に開発が始まり、TERENA(現 GÉANT)で実用化された、教育・研究機関などのキャンパス無線 LAN の相互利用(ローミング)を実現するシステム。現在 89 か国が加盟し、国内では 181 機関が参加している。日本では東北大学が 2006 年に初導入し、eduroam JP の名称で、現在は国立情報学研究所によって運用されている。大学キャンパス内ばかりではなく、日本では主に関東圏、一部の国では空港・駅、市街地無線 LAN にも導入されている。海外では病院への導入事例も多く、近年では初等・中等教育機関への導入も進められるようになり、学術・教育関係の世界標準の基盤となっている。

eduroam (世界): <https://www.eduroam.org/>

eduroam JP: <https://www.eduroam.jp/>

【問い合わせ先】

(研究に関すること)

東北大学サイバーサイエンスセンター

担当 後藤英昭

電話 022-795-6090

E-mail nghsig@rd.cc.tohoku.ac.jp

(報道に関すること)

東北大学情報部情報基盤課総務係

担当 佐藤恵美子

電話 022-795-3407

E-mail som@cc.tohoku.ac.jp